

# わ が 街 わ が 故 郷

堺から熊野古道

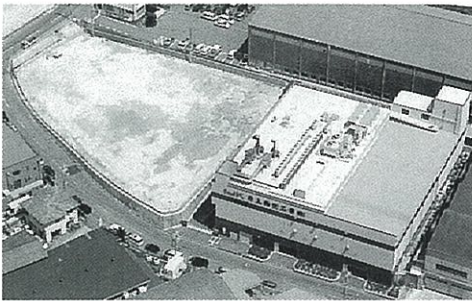
IJK 井上軸受工業株式会社 美原分工場

## 1. 美原分工場の紹介

所在地：大阪府堺市美原区木材通2丁目812番5

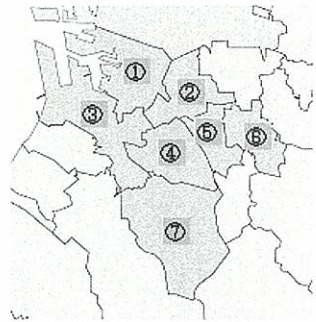
従来弊社の生産は小径玉軸受が中心でしたが、この10年の間に生産サイズの大型化が進み富田林工場だけでは手狭になり、生産効率の向上もあわせて、3年前に堺市美原区（大阪木材工業団地の一角）に新たな生産拠点を建設しました。

美原分工場



富田林工場については第46巻第4号（2003年）で、美原町については日垂精密工業(株)様より第47巻第7号（2004年）で紹介されています。

美原町は平成の市町村合併により、堺市と平成17年2月1日に合併し美原区となり、堺市は政令指定都市に移行しました。



堺市の行政区

- ①堺区 ②北区 ③西区 ④中区  
⑤東区 ⑥美原区 ⑦南区

そこで、今回は堺から熊野古道への一部を紹介することにします。

## 2. 堺市の美原区域以外は「丁目」ではなくて「丁」で表示

理由をはっきり示す資料はありませんが、一説では、美原区域を除いた堺の町名に丁目の「目」が付かないのは、江戸時代の「元和の町割り」にそのルーツがあると考えられています。

元和元年（1615年）大阪の陣で全焼した堺は、徳川家康により南北の大道筋、東西の大小路通を基軸として碁盤の目の形に町割りされ、整然とした町に生まれかわりました。これを「元和の町割り」といいます。

通称名を含めた町の数、多いときで400近くにも及び覚えにくい、大道筋（南北の大通り）に面した24の町名と縦筋の通り名とを合成させ、ちょうど現在の京都のような呼び方を通称として使うようになったようです。

さらに明治5年（1872年）の町名改正では、町名をより分かりやすくするために、独立した町名のかわりに当時の町組を生かして2街区に再編し、大道筋に面した町名をもとに東側は〇〇町東1丁、東2丁…、西側は〇〇町西1丁、西2丁…と変えました。それぞれ独立した町が東1丁や西1丁…などと変わったため、町を細分する意味合いを持つ「丁目」はなじまず、「町」と同格の意味で「丁」を使ったものと思われれます。確かに覚えやすい反面、少々味気ない気がしないでもありません。

### 3. 大仙陵古墳の世界遺産登録に向けて

大山陵古墳（仁徳天皇陵）は世界三大陵墓の一つで、日本最初の世界遺産の法隆寺や姫路城に匹敵する文化遺産とする意見もあります。しかし、宮内庁の管轄であり皇室財産であるため、世界遺産登録の条件である国指定史跡であるこ



仁徳陵

とを満たすことができず、暫定リストに登録されることもできません。現在、政令指定都市・中世の自由都市である堺のアピールのために国と連携して世界遺産への登録をめざしています。

### 4. 堺の旧街道

関西というところは、古代から明治に至るまで、長い間、都があったところ。すべての道はローマに通ずるといわれるように、西は遠く中国・朝鮮半島から瀬戸内海の海路や都へ通ずる陸の道が発達していました。それに加え、関西は伊勢参りや信仰の対象となった山岳仏教の聖地が二つあります。熊野三山（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社）と高野山がそれです。

とりわけ熊野詣では、平安時代から近世に至る時代には「蟻の熊野詣」といわれるほどの賑わいを見せたこともありました。



熊野三山

この聖地は二つとも和歌山県に属しています。最近ではユネスコの世界遺産に登録された結果、観光客が増加し地域の活性化に大きく貢献しています。そうした古代の大和王朝へ至るメインルートは、瀬戸内海、大阪湾から堺を出発点とする竹内街道でした。それと平行してバイパスの役目を果たしていた長尾街道も、堺（二つとも堺市役所のあたり）が出発点でした。一方、熊野詣の紀州街道は、旧堺の南、湊あたりで二

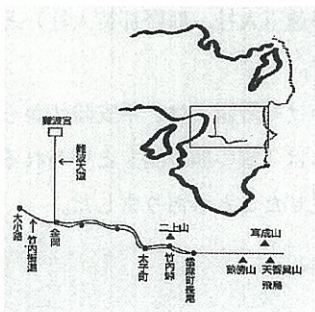


つに分かれます。一つは海岸に沿って南下する紀州街道。これに対し、もう一つは紀州の東の丘陵地帯を通る熊野街道（小栗街道）となります。

### 竹内街道

竹内街道は「最古の官道」といわれ、大阪府堺市から東に二上山の南麓・竹内峠を経て奈良県葛城市の長尾神社付近に至ります。

現在、この道をたどって「竹内峠」を歩いて越えようと思っても、車の往來が激しく昔の姿はありません。道は人のためでなく、車のために整備されています。人に優しく、歩く道の再整備をして欲しいものです。



竹内街道

### 熊野街道（小栗街道）

有名な小栗街道も昔の場所からは大きくそれたりし、これが昔の街道だと教えてもらわなければ、気づかれないほどになってしまいました。この道は昔から大切な道で、昔は熊野街道と呼ばれ、京都に住んでいる人なら誰でも知っているというほど有名で、紀伊の熊野に通じる道でした。



小栗街道(左)と府道大阪和泉南線(作才町)

## 5. 改名「匠町」の誕生

シャープの大型液晶パネル工場が堺市堺区築港八幡町（新日本製鉄の遊休地）で平成22年3月までに操業を始めるのに合わせ、現町名の「築港八幡町」の一部を「匠町（たくみちょう）」に変更することが決められました。同じ敷地内には、関連するインフラ施設や部材、装置メーカーの工場を誘致し、「21世紀型コンビナート」を形成することになっています。「匠町」は「刃物作りなど堺の伝統産業と最先端の技術をイメージさせる」と評価を受けています。

最後に、皆様方も熊野古道散策に出かけられたらいかがでしょうか？

(井上軸受工業株式会社 番 正夫)